



# 五小だより



学校教育目標  
ともに学びあい、心豊かにたくましく生きる子どもの育成  
～互いに認め合い・つながりあう～

五位堂小学校創立150周年 スローガン  
未来へ つながる ひろがる 五小のWA!  
～感謝を込めて150年～

2023(令和5年度)年10月 5日  
第 12 号  
香芝市立五位堂小学校 校長室発行

開校150年ホームページはこちらから



## 6年生、待ちに待った“修学旅行”

去る、9月29、30日(金、土)に、6年生が小学生活の中で、おそらく1番楽しみにしている、“修学旅行”に行きました。2日間とも晴天に恵まれ(暑いぐらいでした。)、無事に終わることができました。この修学旅行ですが、楽しいことだけでなく、「平和について深く考える、学校を離れて生活することで、社会のルールやマナーを体感して学ぶ。」ということがあります。子どもたちが五位堂駅でバスを降りたときの顔は、2日間の疲れは見えたとものの、「学び得たものがある。」という自信にあふれた顔が見られました。その「学びの様子」を写真と共にこの校長室だよりで紹介します。

鵜野飛行場跡、「平和祈念の碑苑」で、この地を飛び立ち帰らぬ人となった方々へ“黙祷”を捧げた。



鵜野飛行場跡の敷地内でフィールドワーク。“防空壕の入り口”を実際に見る。



“防空壕”の中で、当時のパイロットが書いた“遺書”の内容を「再現されたDVD」を見て、どんな思いでこの戦争を戦ったのかを知る。



鵜野飛行場跡に建てられた“Soraかさいミュージアム”にて「紫電改(レプリカ)」や“新風特別攻撃隊(白鷺隊)”が使用した「九七式艦上攻撃機(レプリカ)」が展示されている館内で、鵜野飛行場(当時のこと)についてガイドの方から説明を受ける。

鵜野飛行場跡を出発して、姫路平和資料館へ。資料館では展示の見学と「平和講話」を聞く。講話の中では、講師の先生の質問に対して、事前に学習してきたことを堂々と発表する姿が見られた。展示の見学では、空襲に遭って焼け野原となった姫路市が、「姫路城」を中心にした美しい町を取り戻すまでの、姫路市の人々の復興へ向けた努力を知ることができた。その後、慰霊塔前に移動し、“平和セレモニー”を行う。五位堂小学校全児童で折った、平和の思いを込めた千羽鶴を奉納した後、6年生全員で考えた“誓いの言葉”では、平和がなぜ必要なのかを考えることで、みんなの平和を願うことの大切さに気づき、自分たちには何ができるのか、言葉として表現された素晴らしいものだった。そして“島唄”の合唱。高くそびえる慰霊塔を通して大空に響き渡った心のもった歌を歌うことができた。



姫路平和資料館で今回の修学旅行での“大きな目的”を果たした達成感とともに、宿泊先の“シーサイドホテル 舞子ビラ神戸”に到着。夕食時に“目的達成”を祝福してくれているかのように、食事会場の大きな窓から、ライトアップされた“明石海峡大橋”が見えた。“最高の友”と“最高の景色”で食べる食事は「最高においしかった。」に違いない。2日目は「姫路セントラルパーク」へ。子どもたちは“一生忘れない思い出”を創ることができたでしょう。この“思い出”と“友”と、来年の3月にはこの五位堂小学校を巣立って行きます。その日まで、「弟妹たちの良き手本として、学校の顔として」残りの小学校生活を大いに盛り上げて欲しいと思います。



五位堂小学校150周年ホームページに是非アクセスを。

五位堂小学校150周年に向けての様々な情報を少しずつですが、ホームページにアップしていきます。是非アクセスしてご覧ください。こちらのQRコードから ↓

